ᄭᄽᅲᇠᇠᇠᅷᆂᄣ	(学術研究助成基金助成金)		/ TTウウナケルシロ 4D 4H ++ ヽ	· / TT 🕂 🤈	
NI'그'해 와 좀 메티 보 폭) = m /T;	/ ##42 丰棚 沈光 \$ \$ = 1	1 (34/60 /	

1.	機関番号	1 4 6 0 3	研究機関名	奈良先端科学技術大学院大学
3.	研究種目名	挑戦的萌芽研究	4. 補助事業期	─────── 間 平成25年度~平成26年度
5.	課題番号	2 5 6 5 0 0 6 8		
6.	研究課題名	新たな蛋白質間相互作用の発見を目指す共同	司在オーム解析法σ)確立

7. 研究代表者

	研	究	者	番	号		研	究 代	表者	当 名	所	属	部	局	名	職	名
											バイオサイエンス	研究	科			准教授	
6	0 2	2 6	3	4	4	8	木俣	行雄									

8. 研究分担者

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名

9. 研究実績の概要

出芽酵母では1990年代に全ゲノム配列の解読が終了しており、約6000個のOFRがタンパク質をコードするであろうと予測されている。そして、それらのORFにGFPタグを挿入し、それぞれのタンパク質の局在を網羅的に調べるというプロジェクトも進められている(Huh et al., "Global analysis of protein localization in budding yeast." Nature Vol.425 686-691 (2003))。よって、多くのタンパク質の局在はいちおうは決定されているものの、例えば特定のオルガネラ(あるいはサイトゾル)に局在するが「ムラ」があるタンパク質、あるいは、実体が全く不明な部位に局在するタンパク質もあらいは、実体が全く不明な部位に局在するタンパク質もあらいる。本研究では、任意の2つのタンパク質の局在を網羅的に検討することを目指す「共局在オーム」解析の確立を目指す。それによって、新しい細胞内区画を発見でき、さらには、タンパク質相互作用を見つけ出すことができると期待している。そこで本研究ではまず、汎用性の高いDNAコンストラクトを用いた遺伝子置換法によって、GFPタグ付きORF株のGFPタグをmCherryタグへと置換する手法を作り上げる必要がある。それが完成したら次に、数多くのGFPタグ付きORF株のGFPタグをmCherryタグへと置換し、菌株の交配により異なるOFRがそれぞれGFPタグとmCherryタグ標識された株を作り出すことが可能となる。当該年度においては、GFPタグ付きORFをmCherryタグへと置換するDNAコンストラクトを作製することができた。

(1) タンパク質局在	(2)	(3)	(4)	
(5)	(6)	(7)	(8)	
11. 現在までの達成度 (区分)(3)やや遅れて	112			
(理由)	, 1 ର ୍			
	奥するDNAコンストラクトのf	作製において、当初に設計した。 フト複数個、設計をよび作制する。	ものが期待通りに機能しなかった(る必要があり、当初の計画よりも研 計画であったが、それに用いる高能	ゲノムへの
遅れることとなった。また、 が研究期間に納入されるのか	GFPタグ付きORF株の蛍光像 が遅く(2013年12月)、これ	ノーを数画、成品のより下裂する とをあらかじめ多数観察しておく も研究が遅れる要因となった。	計画であったが、それに用いる高館	解像度顕微鏡
12. 今後の研究の推進方策	等 			
(今後の推進方策)				
当該年度に作制したDNAコン	ストラクトを用い、小胞体原GEPタグ付きORE株(小胞体	司在とされている約200種類(:局在タンパク質にGFPタグがつ)	Dタンパク質について、共局在オー いたものを発現している)のGFPタグ	ム解析を進 ブをmCherry
タグに置換する。そして、G rryタグ標識された株が取得	FPタグ付きORF株とmCherry でき次第、順次、高解像度	タグ付きORF株を交配後に減数分 顕微鏡にて観察に供したい。	いたものを発現している)のGFPタ/ 裂に供し、異なるOFRがそれぞれGF	PタグとmChe
(次年度使用額が生じた理(理由)	里由と使用計画)			
(使用計画)				

10. キーワード

13.研究発表(平成25年度の研究成果)

〔雑誌論文〕 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件							
著 者 名			論文	標	題		
		査読の	有無 巻		※	宁年	最初と最後の頁
小庄 加沙 □		直肌切	1 2		1	, 	取 的 C 取 及 00 只
						! !	
					<u> </u>	<u>i i L</u>	
掲載	裁論文のDOI(テ	゚゚ジタルオブジェク	ト識別子)				
〔学会発表〕 計(0)件 うち招待講演 計(0)件							
発表者名			発 表	標	題		
W 4 75 5		***	T	71			
学会等名		発表年月日		発	表場	PIT	
〔図書〕計(0)件							
著者名				出版	社		
1 1							
書名				発	行年	総	ページ数
				į	įį		
				<u> </u>	<u> </u>		
14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況							
[出願] 計(0)件		_					_
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類	魚 番号	出原	順年月日	国内・外国の別

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

[取得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考			